

平成 22 年 5 月 31 日

各 位

都城農協和牛生産部会
部会長 井ノ上 廣實

「49 頭の種雄牛を守るための署名」運動のお礼

平成 22 年 4 月 20 日宮崎県において、口蹄疫感染が確認されて以降、感染拡大が広がり 5 月 31 日現在 238 例を数え未だ終息が見えない状況です。

この様な状況の中、畜産農家及び関係機関の皆様には、口蹄疫の蔓延防止に毎日昼夜を問わずご尽力いただいております事に感謝申し上げます。

5 月 14 日に宮崎県家畜改良事業団での肥育牛への感染が確認され、種雄牛 49 頭の殺処分が発表された事を受け、当都城農協和牛生産部会で「49 頭の種雄牛を守るための署名」運動を実施いたしました。

部会員をはじめ、県内及び全国の方からご賛同いただき、22,757 名の署名をお寄せいただき、5 月 23 日、26 日の 2 回に分けて県庁に登庁し、我々、和牛生産農家・宮崎県の宝である 49 頭の種雄牛の処遇につきまして、国・県へ再考を嘆願してまいりましたが、28 日 49 頭の内 1 頭に感染が確認され 31 日全頭殺処分されました。大変残念な結果になりましたが、特例措置として西都市に避難しておりますエース級の 5 頭については、PCR 検査の結果陰性であり感染を免れております。この特例措置には、賛否両論だされておりますが、我々生産農家の希望であり感染しない事を願っております。

一刻も早く口蹄疫が終息する様、関係者一丸となって取組み、全国の和牛供給基地として必ず復興できる様、努めていく所存でございます。

今回、「49 頭の種雄牛を守るための署名」運動にご賛同いただき激励いただきました多くの皆様にお礼を申し上げ、感謝いたします。